

一般社団法人 日本小児血液・がん学会
第72回理事会議事録

日時:令和5年5月26日(金) 15:00~17:00

開催:ZOOMによるWEB会議

出席者:大賀 正一(理事長)、菱木 知郎、真部 淳(第65回学術集会会長)小川 千登世、
奥山 宏臣、塩飽 仁、多賀 崇、高橋 義行、滝 智彦、藤 浩、家原 知子、大植 孝治、
加藤 元博、木下 義晶、富澤 大輔、山崎 文之、義岡 孝子、余谷 暢之(以上理事)
淵本 康史、堀 浩樹(以上監事)
足立 壮一(第66回学術集会会長)

欠席者:越永従道(第64回学術集会会長)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中18名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事大賀 正一は議長となり、議長席に着き審議に入った。

I. 前回理事会議事録(案)の確認

議長より、前回議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の菱木担当理事より、現在の会員数の報告とともに、入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

2. 2022年度決算報告・事業報告について

庶務・財務委員会の菱木担当理事より、2022年度決算について、公認会計士監査、並びに、本会監事による会計監査が行われたことが報告され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。また、2022年度事業報告についても資料に示され、異議なく承認された。

3. 2023年度予算案・事業計画案について

庶務・財務委員会 菱木担当理事より、資料を元に令和5年度(2023年度)の予算案・事業計画案が示された。委員会事業費、管理費の旅費交通費・会議費については、現地開催よりも積極的にWEB開催を行うことが確認され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

4. Japan Cancer Forum2023 共催について

大賀理事長より、認定NPO法人キャンサーネットジャパン主催のJapan Cancer Forum2023の共催について、例年通りJCCGと共同で参画する旨が資料と共に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

本会からの司会・演者は下記の通り。

【Japan Cancer Forum2023】

2022年8月5日(土)~6日(日)

共催参画方式:オンデマンド

(JSPHO 枠)司会:菱木 知郎 先生

演者:古賀 友紀 先生

「小児難治性白血病への挑戦~新しい造血・免疫細胞療法~」45分講演

5. 今後の小児血液・がん専門医の制度設計について

専門医制度委員会 富澤担当理事より、機構認定サブスペシャリティ領域専門医への移行を見据えた小児血液・がん専門医の今後の制度設計について、下記の通り示され、議場にその承認が求めら

れたところ異議なく承認された。

- A.小児血液・がん専門医の研修方式を、小児科研修後のサブスペシャリティ研修として「通常研修」と位置付けること(小児科研修と小児血液・がん専門研修の2階建てとすること)
- B.がん治療認定医および血液専門医の資格を、小児血液・がん専門医取得の要件から外すこと
- C.小児血液・がん専門医の機構認定を受けた後も、小児科から血液専門医を取得するルートを残すこと(小児科医が同じ機構認定サブスペシャリティ領域専門医資格である小児血液・がん専門医(予定)と血液専門医の両者を取得することを可能にすること)

なお、今後、専門医制度委員会内で、規則の改正などを進めることとなることが確認された。

6. 専門医制度委員会の委員増員について

専門医制度委員会 富澤担当理事より、専門医制度委員会の業務内容が2名の委員増員について示された。現在の業務の負担に加え、今後はサブスペシャリティ領域の認定に関わる業務も加わることを受け下記2名の増員について、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

柴 徳生 (横浜市立大学小児科、評議員)
坂本 謙一 (滋賀医科大学小児科、評議員)

7. 学会登録データ二次利用申請の周知と情報公開について

研究審査委員会 家原担当理事より、学会登録データ二次利用申請の周知と情報公開について、学会登録データの二次利用を行う研究の場合は、学術・調査委員会に申請・承認後に研究審査委員会へ研究審査を提出する流れについて、改めて会員へメール配信・学会ホームページへの掲載をもって周知を行う旨が資料で示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

また、学会疾患データ二次利用研究の情報公開について、今後、「小児血液・がん学会のホームページに掲載」する際には、本会で作成した様式を作成し、様式を用いて提出を行うことが異議なく承認された。

8. がんゲノム医療に関する(地区セミナー)包括契約の契約書について

教育研修委員会 大植担当理事より、地区セミナーを主としたがんゲノム医療に関する包括年間契約について、3月24日に承認された契約概要に基づきバイエル薬品株式会社より提出された契約書が議場に示され、異議なく承認された。

9. 教育セミナー、CLIC の開催について

教育研修委員会 大植担当理事より、2023年度の教育セミナー、CLIC の開催について下記の通り、資料に示された。CLIC については1回のみ対面で開催されることも併せて議場に示され異議なく承認された。

- 1.2023 年度教育セミナー
日時:2022年7月2日(日)午後
開催方法:Web 開催
- 2.2023 年度 CLIC 開催予定
2023年6月10日(土):オンライン
2023年11月11日(土):オンライン
2024年3月9日(土):対面

10. 公益財団法人がんの子どもを守る会の医療関係者の海外留学に伴う助成制度について

教育研修委員会 大植担当理事より、2年に一度実施されている「海外留学に伴う助成制度 2023」について資料が示され、本年も「海外留学助成事業派遣医療者選考業務の委託に関する覚書」に則り進めることが資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

11.若手小児血液・がん専門医のための臨床研究助成規約について

学会賞等選考委員会 加藤担当理事より、過去の学術集会の余剰金を用いて若手学会員の研究を助成するための臨床研究助成制度の規約案が資料に示された。同規約については、6月9日(金)まで理事会にて確認を行い、修正後、規約委員会にて審議を行い、最終版を次回理事会へ提出することとなった。

12.CV カテーテルの安定流通について

加藤理事より、皮下トンネル型中心静脈カテーテル(プロビアクカテーテル・ヒックマンカテーテル)の流通遅延について、安定供給に努めていただくための要望書を、メディコン社と厚生労働省へ、小児外科学会と連名で提出することが異議なく承認された。

13.St.Jude 小児病院の若手向け講義案内について

加藤理事より、St.Jude 小児病院の Fellow round について、本会学会員へ紹介することについて示されたところ、今後、国際委員会が窓口となり、St.Jude と紹介方法等について検討を進めることが異議なく承認された。

14.成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン改訂第3版 補遺作成について

大賀理事長より、2022年に発刊された「成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン改訂第3版」の補遺作成について示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

15.LCAS 事務局業務移行に伴う保管庫契約について

長期フォローアップ・移行期医療検討委員会 大賀理事長より、LCAS 事務局業務の成育医療センターから学会支援機構への移行に伴い、資料及び備品保管のための保管庫契約について資料が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

16. LCAS2022 年度報告と 2023 年度計画について

長期フォローアップ・移行期医療検討委員会 大賀理事長より、厚生労働省より承認を得た 2022 年度事業報告と 2023 年度の事業計画案について資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

17.神経線維腫症 1 型患者の叢状神経線維腫に対する MEK 阻害剤であるコセルゴ処方に関する提言について

大賀理事長より、日本レックリングハウゼン病学会より「神経線維腫症 1 型患者の叢状神経線維腫に対する MEK 阻害剤であるコセルゴ処方に関する提言について」賛同を求める要望について検討したところ、改めて経緯と内容を精査することとなった。

18.名誉会員推戴について

大賀理事長より、2023 年度の名誉会員推戴について定款及び定款施行細則に則り下記 2 名について資料に示されたところ、下記 2 名の会員について、名誉会員推戴が異議なく承認された。今後定時社員総会にてその承認を求めることとなる。

【名誉会員候補者】

黒田 達夫(慶應義塾大学医学部小児外科 / 第 58 回学術集会会長)

越永 従道(日本大学医学部 小児外科 / 第 64 回学術集会会長)

19.新規評議員について

評議員等資格審査委員会 藤担当理事より、2023 年度新規評議員の申請者について委員会での

審議の結果、15名の申請者の内14名が認められたことが資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

なお、申請要件については、今後評議員等資格審査委員会にて見直しを行うこととなった。

20.厚生労働省「がん登録部会」専門委員について

家原理事より、「がん登録部会」専門委員の家原理事の任期満了に伴い、後任として木下義晶理事が推薦され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

21.今後の理事会日程について

2024年1月と3月開催の理事会日程について、下記の通り変更となった。

1月→2月2日(金) 15:00~17:00(WEB開催予定)

3月→3月29日(金)15:00~17:00(WEB開催予定)

Ⅲ. 報告事項

1. 第65回日本小児血液・がん学会学術集会報告

真部会長より、第65回学術集会のプログラム案が示され、引き続きプログラムの調整を行うことが報告された。なお、本大会では開会式を執り行わないこと、また、学術集会時臨時社員総会は9月30日(土)16:30~17:10(現地)に執り行うことが併せて報告された。

2. 委員会報告

1) 研究審査委員会報告

研究審査委員会 家原担当理事より、下記2件について報告された。

・学会疾患データ二次利用データの提供の在り方について、学術・調査委員会と協議中である

・現在4つの研究審査中であり、うち2つが学会疾患データの二次利用する研究であることが報告された。

2) 教育・研修委員会報告

教育・研修委員会 大植担当理事より、2022年度事業として下記について報告された。

1. 2022年度 CLIC 開催報告

開催日	2022/7/16	2022/12/17	2023/3/9
応募数	50	28	26
受講者数	47	22	20
受講証発行数	47	22	20
小児血液・がん学会会員	35	11	11
日本緩和医療学会会員	1	4	2
非会員	4	7	7

2. 2022年度地区セミナー報告

地区	日程 (2023年)	参加人数	開催方法	単位申請者 数	単位認定者 数
北海道	2月4日	109人	ハイブリッド	53人	53人
東北	3月18日	89人	Web	60人	60人
関東	2月25日	96人	Web	43人	34人

中部北陸	2月14日	100人	Web	62人	62人
関西	3月4日	48人	対面	29人	29人
中国四国	1月21日	84人	ハイブリッド	51人	51人
九州	1月8日	46人	ハイブリッド	41人	41人

3.日本小児科学会第12回インテンシブコース 講師派遣

今村俊彦先生(京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学)

血液分野「小児の造血器腫瘍 基礎から最新のトピクスまで」

竹谷 健(島根大学医学部小児科)

腫瘍分野「小児がん診療のピットフォール-診断・治療・フォローアップ」

IV.理事長報告

1)SIOP ASIA の開催について

2024/6/22-25 にパシフィコ横浜ノースで開催される「アジア国際小児がん学会(SIOP-Asia)」の松本公一会頭より本会役員への紹介が行われた。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和5年5月26日

日本小児血液・がん学会 第72回理事会

理事長 大賀正一

監事 淵本康史